

# Fontaine

発行日 2024年10月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10  
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

## ♪ 歓喜の舞台へ 第九～市民とともに～ ♪

今年度の3館合同事業は、岸和田市にゆかりのある若手演奏家と一般公募の「きしわだ第九記念合唱団」によるベートーヴェンの交響曲第9番の演奏です。

「きしわだ第九記念合唱団」は、小学生から80代まで175名が参加。南海浪切ホール・マドカホール・自泉会館の各館に分かれ、岸和田市近隣で活動されている演奏家や自泉アーティストバンク登録者による歌唱指導、ピアノ伴奏で練習が続いています。9月6・7・8日に、練習の様子を拝見しました。

### 【自泉会館】参加者73名 自泉会館ホール

「パンチきかせて」「笑顔で歌ってるの好きやわ」「大地からエネルギーもらって」先生の指導の合間には、時折笑い声も聞こえてきます。ホールは端から端まで参加者で満杯。この日はマエストロの藤村知史氏もいらして、練習に一層、熱が入ったようでした。

### 【浪切ホール】参加者76名 小ホール

小ホールは会場が大きく声が広がってしまうため、固まって座るように工夫されているそうです。先生の全身を使った指導でドイツ語の読み、発音、リズムや音程をしっかりと合わせるための練習が何度も繰り返されていました。

### 【マドカホール】参加者58名 リハーサル室1

歌唱指導は言うまでもなく、顔の表情、立ち上がるタイミングや姿勢、楽譜を持つ位置など、本番に向けての細やかな指導がありました。舞台に立った時どう見えるかも大切です。先生の砕けた物言いに、何度も笑い声があがっていました。

見学の合間に、マエストロ藤村氏にお話を伺うことが出来ました。

「すごい迫力になると思います。自分がまとめていくといった大変さはないですね。ベートーヴェンの第九という巨大な目標があり、みんなの目指すものが決まっているので、そこに情熱を注ぐのみです。『魔法の力で世界が平和になる。分断された社会がひとつになる』という歌詞があります。様々な思想、主義を持つ人たちが垣根を越え、音楽を通しひとつになる。作曲された時から現代まで続く普遍的なメッセージが、第九の大きな魅力です。市民参加のいいところは、圧倒的な練習量。ずいぶん遠くから参加している人もいますが、音楽のために何度も集まるといふ力。主義主張を越えてひとつの作品でつながっていく素晴らしさが、ここにもありますね。」

どの会場でも参加する皆さんの熱心な姿勢と、何より楽しそうな姿が印象的でした。まだまだ練習は続きます。本番では、この日のため構成された「きしわだ第九記念オーケストラ」の音色とともに、ソリストの皆さんと合唱団175名の歓喜の歌声が、舞台に響きわたることでしょう。ぜひ、聞きにいらしてください。



浪切小ホールでの稽古の様子



自泉会館ホールでの稽古の様子



マドカホール1での稽古の様子

## 1枚の紙から、カッターで絵を切り抜く

歌う切り絵アーティスト 後藤 <sup>しん</sup>心

兔大 (usadai) としてインスタグラムやXで作品を発表している後藤さん。

高校2年生の時、美術部に勧誘した先輩の作った作品を見たのが、切り絵との出会いでした。もしかしたら自分でもできるんじゃないかとの思いが、制作を始めました。

最初はA3のコピー用紙から取り組み、難しいけれど、だんだん面白いと感じるようになってきました。後藤さんの作品は構図がとても細やかで大きい紙で作るのが困難なため、2020年からA4の大きさで作るようにしています。各高校が集まった展覧会で優秀賞をいただいたのは

高校3年生。その経験は大きな自信につながりました。今も大切にしている賞状は、コロナ禍が始まった時期でしたが卒業式に担任の先生から受け取ることができ、とても嬉しかったのを覚えています。

今まで20点くらい作った作品は、友達から作ってほしいと頼まれ差し上げたりして、現在手元に残っているのは10点ほど。初めて作品を拝見したとき、ペンで描いたのかと思わせるほどの細い線や、作品を風景と重ねることで生まれる美しさにとっても驚きました。

これまでに大阪や貝塚市で作品を展示してきましたが、現在実際に切り絵を見てもらえる場所は、月に1度第3土曜日に福祉センターで行われている「子ども食堂」です。作品の展示と歌を歌っています。



君が見たこの世界

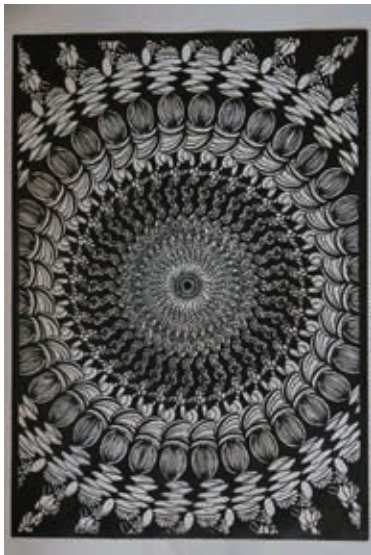
そこではカバー曲からオリジナルソングも作っていて、来てくださった皆さんに楽しんでもらっています。お母様の「人と違うことをしなさい」と言う言葉にヒントを得て「歌う切り絵アーティスト」として活動していこうと決めました。

「幻」というタイトルで作りを始めた最近の作品は、心臓の手術をすることになり完成までに1年かかりました。今までに症例のない状態で、ずいぶん長い入院生活となりましたが、体の痛みや不安を乗り越えた後藤さんは、辛い時間に他者への優しいまなざしや、やってみたいことをたくさん育てられたようです。

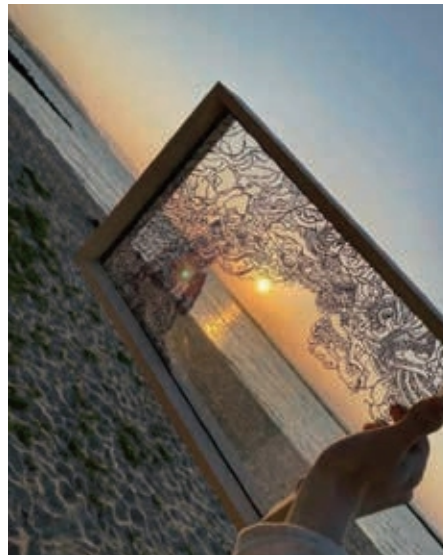
これからの目標は「切り絵を広めたい」こと。絵画に比べると取り組む人の少ない切り絵の楽しさを感じてほしい。また、自分の経験したことを話す場所も作れたら…と夢はどんどん広がっています。

働きながら切り絵を始めて6年。とても繊細な作品です。たくさんの人に見ていただける機会が増えますように。

(取材: 小木曾・黒木・小木)



幻



浪



# 『熊沢友雄日記』

## ～岸和田藩士の暮らしをたどる～



嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは岸和田まつり関連の日記を抜粋しご紹介していきます。

※月日は新暦

### 明治二十五年 (1892)

十月二日 明日岸城神社祭礼に付、本日午前十時おのふ湊よりおちの及出生見を携へ、下女を従へ来る 四、五日滞在の積也  
午前三時前より諸町より地車を出し、市中喧噪耳朶にとどろく

十月三日 神祭に付早朝より掃除をなし神仏を祭り、戸外提灯を出し取計、例年の如し  
来客…九人 料理…  
①午後十一時前壇尻不残町々へ引込、先つは無滞(とどこおりなく)相済たる誠に日出度事也  
開化に赴き少しく人民の開けたると②憲兵及警官の人力預ってカある也

①② 納庫時間=官憲の規制

### 明治二十六年 (1893)

九月十四日 未二十三日氏神祭礼日替に付、来客所用之道具向土蔵より取出す  
九月二十四日 昨日氏神祭礼町々壇尻を出す例の如し  
何事も無之、日暮に相済たる由  
仍(すなわ)ち用意の御肴多く不用になりせし由  
祭礼に付、③町入りして、金武内町世話人へ差出したる由、習慣によるなり

③ 初めて壇尻の仲間に入る

### 明治二十七年 (1894)

九月十五日 本日岸和田氏神々祭なるか為め、下女に命し赤小豆飯を焚き、一、二品の魚類を調理し之れを祝す、右神祭に壇尻引出す処とならば、帰岸して例年の通未客をも可申入答、本年は④戦争事件にて無其儀所より、帰岸は見合わす事となせり

④ 日清戦争

### 明治二十八年 (1895)

十月一日 延引し有之岸城神社祭典本日に相成、未たコレラ府下に跡を絶たす候に付、未客等は可也(なるべく)見合可然(しかるべし)との警察注意も有之との事に付、何れへも招待状はさし出さず、勿論担尻等は差出さる事也



明治25年には、だんじりの曳行時間が制限されているようです。無事に祭礼がなされたことを文明開化を経験した民衆の心持ちと捉えているのは、この時代ならではのようです。安全のため警官が尽力するのは、昔も今も変わらないですね。

だんじりを愛する気持ち、人を招き、祭りを楽しむ様子。岸和田にずっと生き続けてきた姿を武士の日記から見てきた本欄は、今回で終了となります。長らくお付き合いいただき、ありがとうございました。

# Cultural Hot Spot In Kishiwada

## 岸和田の文化ホット情報

### 人形劇、楽しいよ！ 人形劇すまいる

人形劇すまいる

田村 章子・谷中 明子

「人形劇すまいる」の誕生は、夏休みに南海浪切ホールで開催していた「子どもえんげき祭 in きしわだ」で募集された人形劇講座がきっかけです。2012年のことでした。人形作りから始めて、えんげき祭で本番を終えた後も「もっと人形劇を続けていきたい！」と希望するメンバーで結成することになったのです。観に来ていただいた方みんなに「笑顔=すまいる」になってほしいという思いから「すまいる」と名前をつけました。

コロナ禍での活動中止やメンバーの増減等を経て、2024年で12年目に入り、現在は2名で活動しています。活動拠点は野田町の「ころころはうす」で、普段はここで練習を行っています。図書館や幼稚園・保育園・学童など、ご依頼があれば公演に伺っています。

公演本番までは、次のような流れになります。

#### 1. 作品を決める

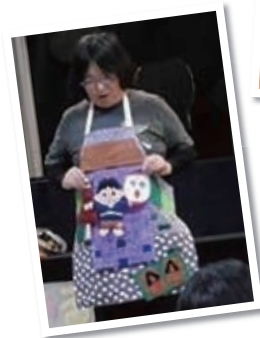
多くは日本や海外の昔話から選びます。語り継がれるお話には、子どもたちの心に響きドキドキワクワクさせてくれるものがたくさんあるからです。しかし最近では昔話に触れる機会が減り、知らない子どもたちも少なからずいるのです。どの世代も知っているお話との出会いになれば、またいろんな昔話を知るきっかけになればという思いで、私たちは作品を選んでいきます。またオリジナル作品にも挑戦しています。

#### 2. 台本作り

昔話を基にしているとはいえ、そのまま人形劇に使える訳ではありません。セリフはもちろん、歌や音響・場面転換・登場人物の出入りなどを考えて人形劇用に作り替えます。完成しても、練習しながらどんどん変わって行くこともあります。

#### 3. 人形作り

まずはイラストを描いてみてイメージを膨らませます。そして全体の流れや舞台の使い方も考えつつ、どんな人形にするか大きさや材質についても話し合います。「すまいる」では、担当者がそれぞれの人形を作ります。自分で人形を作ると、愛着もより湧いてくるのです。どの人形を作るかが決まったら、途中報告をしながら各自で製作しています。



#### 4. 公演本番！

公演は人形劇だけではなくありません。手袋シアターから始まり、組み木やパネルシアター・エプロンシアター・ハンドベルなど様々な作品を組み合わせ、1つの公演を作り上げていきます。

私たちが目指しているものは、子どもたちとお家の方々「笑顔=すまいる」で時間を共有してくれること。そして何より私たちが目一杯楽しむこと。

これからもみんなの笑顔をパワーにして、活動を続けていきたいと思っています。

# 泉州の 近代建築

vol.7

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

## 無言の言

### “王道”五風荘庭園と“独創”八陣の庭

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

今回は庭園をとりあげたい。庭園は建築物とセットの関係を持つからである。

岸和田城周辺には、誇るべき名庭園がある。岸和田城庭園（八陣の庭）と、その南にある五風荘庭園である。八陣の庭は重森三玲独自の枯山水庭園。対して五風荘は苑池式庭園。庭園の設計思想からして両極にあるものが、隣接している。

この異なる庭園がもつ意味について、重森が記した『日本庭園史体系29』の八陣の庭の作庭記録を紐解くと、驚くべきことが見えてくる。

八陣の庭は国指定名勝であり、重森の最高傑作のひとつである。天守閣を背景にした景観、天守閣から俯瞰した景色など重森の独創性が際立ち、他に類を見ないという言葉がふさわしい。特に重森は庭園を設計するにあたり、景石の配置を翌年建設される「天守閣」と関連付けて配置していることから、庭園と天守閣は一体のものであり、お互いに関連したものと理解できよう。

五風荘は寺田財閥の寺田利吉が、旧岸和田城内の新御茶屋跡などに昭和12年から3年の歳月をかけ造営した大邸宅である。昭和戦前期、日本の木造建築における職人技術の粋と、全室空調管理という時代の先端技術を集めた近代和風建築で、使用されている柱材は柾材の四方柱目で節目が見られない最上質なものである。五風荘には寺田家の居住域と客人をお茶でもてなす機能とがあり、正門、待合を経て茶室へ向かうハレの空間と、日常生活のケの空間が敷地や建物内に表現されていた。敷地の半分以上がお茶のための舞台装置なのである。その敷地の大部分を占める庭園は、昭和4年から10年頃にかけて造営され、庭内には「山亭」と「利庵 残月席」「利庵 八窓席」の3つの茶室があり、これらは武者小路千家・木津宗詮（聿齋）の設計である。

ここで注目したいのは『体系29』中における重森の行動である。重森は八陣の庭作庭にあたり、岸和田市内の史跡名勝を訪れている。岸和田城周辺はもちろん、久米田池、久米田寺、久

米田古墳群、兵主神社、積川神社などである。曰く「風致計画や観光計画又は庭園建設の爲」と。しかし記述の中で、城に隣接する五風荘庭園については一切触れられていない。

重森は自身の仕事として日本各地の名庭園を測量して回り、日本庭園史体系等にまとめている。名庭園と評価するのは彼自身で測量を行い、きちんと記録する。しかし隣接して既存する五風荘と庭園については、一切触れないのである。これは何を意味するのか。

今でこそ“作庭家”重森三玲は高く評価されるが、戦前・戦後すぐにかけては作庭家としては在野であり、独学で作庭を行い、かつ非常にモダンであり、“従来”の作庭家からの評価は非常に低いものだった。また若いころにはお茶・生け花の世界を志し、挫折を経験している。

対して、五風荘の茶室と庭園を設計した木津宗詮は武者小路千家の宗匠であり、その茶室・作庭は“王道”と評価してよいものである。

重森も自身の評価が低いことは当然知っており、内心には王道に対する強烈なコンプレックスがあったと仮定すると、この一切書かないという行動には理由があると理解できよう。木津の手による五風荘庭園が重森のお眼鏡にかなわないはずはない。重森は無言を貫くことで、自身の考えを表しているのだ。

逆接的に言えば、王道である木津宗詮の五風荘庭園があったからこそ、独創的な八陣の庭という名庭園が生まれた。ここ岸和田には究極に面白い庭園文化が存在すると言えるのである。無言の言、五風荘庭園と八陣の庭で感じていただきたい。



八陣の庭



五風荘庭園

※ヘリテージマネージャー(地域歴史文化遺産保全活用推進員)とは、地域社会に眠る歴史文化遺産を発見し、保全し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のこと(公益社団法人日本建築士会連合会HPより)



Ichigo-Ichien

## 音楽と生きる



自泉アーティストバンク(ソプラノ)

黒田 莉舞

某大手CDショップのコーポレート・ボイスとしてよく目にする「NO MUSIC, NO LIFE.」という言葉。私自身を一言で表すとしたら、この言葉が一番しっくりくるような気がする。

物心がついた頃から音楽が大好きで、人前で演奏することが大好きで、ずっと声楽家になることが夢だった。しかし、進路選択の度に音楽と学業のどちらを優先するか悩みに悩み、最終的には音楽と本気で向き合う覚悟と責任を持たず、高校は普通科、大学は総合大学に進学した。この選択によって、音楽との距離が遠くなってしまわないかと不安に感じる日もあったが、どの場所に身を置いたとしても音楽への愛が小さくなることはないし、自身の選択を正解にするためにも「学業と音楽を両立させる」と決心したことは、自分の中の意識が大きく変わった瞬間だった。高校時代に培った学習の基盤に支えられ、大学時代の数々の素晴らしい出会いに導かれ、今こうして音楽を続けられていること。振り返ると、全てが必然であったと感じる。

大学卒業後も音楽を続けると決めてからは「楽しい！幸せ！」という気持ちだけで音楽ができない日もある。そんなときのリフレッシュ方法は、ピアノを弾いたり好きな曲を聴いたりすること。音楽で悩み苦しみ、音楽に救われる。私の人生は、いつだって音楽とともにある。これまで音楽を大好きなまま続けてこられた周りの環境に感謝の気持ちを忘れず、一日でも長く音楽とともに生き続けたい。

## 私を形作るもの



自泉アーティストバンク(ピアノ)

福留 あぐり

初めまして。私は、神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻を今年卒業し、海外の音楽大学院受験のために日々鍛錬している福留あぐりと申します。

今の私を形作るもの。ピアノ・クラシック音楽はもちろんですが、近現代アートがその多くを占めています。

オーストリアへ留学していた際、ザルツブルク近代美術館、リンツのレントス近代美術館、ウィーン近代美術館など、様々な美術館に足を運びました。

「よく分からない」と片付けられてしまいがちな近現代アートですが、分からなくて良いんです。分からない自分を恥じなくていい。その感情は紛れもない「今」の自分を映す鏡なのです。

私にとって近現代美術館へ行くことは、作品を知るのみならず自分を知る。つまり自分自身との対話の時間でした。それらが私の音楽に与えた影響などをお話しようと思います。

「既存の秩序の破壊」「意味の否定」が理想として掲げられる芸術運動ダダイズムは、時に不安に押しつぶされる私に、恐れることなく音楽を表現する勇気を与えてくれました。カンディンスキーを筆頭とする抽象美術は、白黒はつきり付けてしまいがちな私に、人間という生き物の精神世界の複雑さを教えてくれました。超現実主義を牽引したルネ・マグリットやダリは、まだ若く経験の少ない私に、可能性の色鮮やかさを教えてくれました。

極めて伝統的なクラシック音楽を学ぶ私が、決して伝統の枠にとらわれることのない近現代アートに惹かれる。この不思議な相互関係は、いつも私の音楽に新たな命を吹き込んでくれます。

\*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

### 第九～市民とともに～関連 第九をより楽しむためのワークショップ

日時:令和6年8月18日(日)午後3時  
会場:マドカホール  
入場者数:77人



#### 〈皆さんの声〉

- ◆講師の晴さんが、面白く解説してくださり、これからの合唱練習に活かせることができそうです。
- ◆素敵な声の歌を交えての解説、とても贅沢な時間でした。
- ◆晴さんの歌声に圧倒されました。

### オーロラの世界～神秘とロマンを体感～

#### 佐藤ケンジ写真展

日時:令和6年9月18日(水)～23日(月・祝)  
会場:岸和田市立自泉会館展示室  
観覧者数:241人

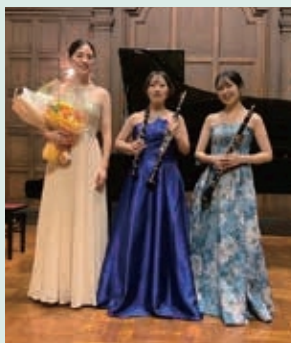


#### 〈皆さんの声〉

- ◆作品の中に奥様が写っているのが特別素敵ですが、どれも怖いくらい美しいです。
- ◆他界した夫とオーロラ旅行は叶いませんでしたが、これらの作品を見て心癒され気持ちスッキリ、大感動しました。
- ◆オーロラには大変興味があるものの、寒さに弱いので写真で見ることができ良かったです。

#### 「オーロラ×クラシック」～クラリネットとピアノ～

日時:令和6年9月21日(土)午後2時  
会場:岸和田市立自泉会館ホール  
入場者数:62人



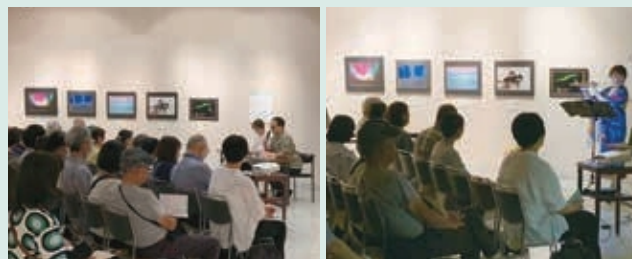
#### 〈皆さんの声〉

- ◆幻想的なオーロラの世界に迷い込んだ感じの気分でした。
- ◆テーマ(オーロラ)が良く、曲目や楽器の紹介も良かったです。
- ◆景色が見えるようで、素晴らしい音色に感動しました。

### オーロラの世界～神秘とロマンを体感～

#### 佐藤ケンジ講演会

日時:令和6年9月22日(日)午後3時  
会場:岸和田市立自泉会館展示室  
※公演終了後、池田清美フルートミニコンサート有り  
入場者数:47人



#### 〈皆さんの声〉

- ◆大変わかりやすく説明してくださり素晴らしい講演会でした。
- ◆20年のキャリアを踏まえたエキスの詰まったお話を聞いて良かったです。
- ◆見た事の無い世界を、リアルな体験からわかりやすく聴くことができました。
- ◆北欧へ行って、死ぬまでに一度はオーロラを見てみたいと思いました。
- ◆オーロラの写真をより素敵に見せるフルートの音色でした。
- ◆フルートの音色とオーロラの写真にとっても癒されました。

#### 「オーロラ×クラシック」～ソプラノとピアノ～

日時:令和6年9月23日(月・祝)午後2時  
会場:岸和田市立自泉会館ホール  
入場者数:27人

#### 〈皆さんの声〉

- ◆夜空と時の流れを感じられる演奏で、今夜はぐっすり眠れそうです。
- ◆日本語を堪能できる歌声、安定感のあるピアノの音色と素敵構成でした。
- ◆空や夜を感じさせてくれる素晴らしい演奏でした。



### 初秋のアフタヌーン・ジャズ

日時:令和6年9月29日(日)午後1時30分  
会場:岸和田市立自泉会館ホール  
入場者数:68人



#### 〈皆さんの声〉

- ◆トークも楽しく、吸い込まれるような歌声がとても心地よく、素敵な一日でした。
- ◆重厚な建物に響く音色が暖かくてベリーグッドでした。
- ◆大阪市内になかなか出にくい義父母と一緒に掛けることができ良かったです。

## お願い

岸和田文化事業協会でごり上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

## お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる、当協会主催の事業がたくさんあるなど、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。※自泉会館をご利用の際は、咳エチケットにご協力ください。

## ●令和6年度3館合同事業

### 第九～市民とともに～

日時:令和6年12月15日(日)午後2時

会場:南海浪切ホール 大ホール

プログラム:

【第1部】

ピアノ協奏曲第23番イ長調K.488(W.A.モーツァルト)  
木下 実優 (ピアノ)

【第2部】

交響曲第9番ニ短調作品125(L.V.ベートーヴェン)

ソリスト 土生 夏未 (ソプラノ)

中村 茜 (アルト)

孫 勇太 (テノール)

榎 貴志 (バリトン)

きしわだ第九記念合唱団 (公募による175名)

◆指揮 藤村 知史

◆オーケストラ きしわだ第九記念オーケストラ

チケット:前売1,000円(当日500円増)

定員:1200名

チケット販売場所:浪切ホールチケットカウンター



## ●第8回自泉クリスマス会 手作りワークショップ

日時:令和6年12月21日(土)・22日(日)

会場:岸和田市立自泉会館展示室

入場無料

ただし、ワークショップ参加者は別途材料費が必要

※事前申し込みが必要なワークショップ有り。

詳しくはチラシまたはHPをご覧ください。



## ●ストリートピアノin自泉

日時:令和6年12月22日(日)午前10時～午後8時

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場無料

申込不可、譲り合々の演奏となります。



## ●年初め紅白音合戦in自泉

日時:令和7年1月12日(日)午後1時30分

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:公募による参加者

入場無料

定員:80名



## ●第77回自泉フレッシュコンサート

日時:令和6年12月20日(金)午後6時30分

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:川崎 梓 (ヴァイオリン)

川崎 梢 (ヴィオラ)

眞村 綾 (ピアノ)

中村 航輔 (チェロ)

下村 玄登 (クラリネット)

山下 歆 (ピアノ)

チケット:会員前売1,000円(当日200円増)

一般前売1,200円(当日200円増)

定員:80名



### ■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

### ■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

※事業の詳細・チラシは、岸和田文化事業協会ホームページにも掲載しています。

## ●第8回自泉クリスマス会

### あわたんぼうのクリスマスコンサート

日時:令和6年12月21日(土)午後2時

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:【第1部】

第13回自泉ジュニアコンサートで優秀な成績を収められた方

清水 結菜 高校2年生/ピアノ (最優秀賞)

西川 愛梨 小学6年生/ピアノ (優秀賞)

道端 拓海 高校1年生/ピアノ (優秀賞)

阿部 めぶき 高校2年生/ピアノ (優秀賞)

【第2部】

黒田 志帆 (ソプラノ)

チケット:前売1,000円(当日500円増)

定員:50名



令和6年度(2024年度)(2024年4月～2025年3月)

# 会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円  
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円  
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。  
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145  
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle  
**Fontaine**

vol.84

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2024年10月25日

### ◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

### ◆編集委員

小末もとえ・小木曾由季・黒木幸子

協力 近江和代・本郷元子

### 編集後記...

酷暑を越えて待ちに待った秋!さあ、どこに行きましょう。  
旅行?コンサート?美術館?それともレストラン?自泉会館  
はいかがでしょう?レトロな建物、素敵ですよ。見学におい  
てくださいね。(小末)



https://jisen.jp

岸和田文化事業協会

検索

